

都市環境の気候変動適応策



# 緑陰や水辺の効果を体感しよう!!

## ～ 身近な場所での暑さ対策 ～

### 定員80名(先着順)

(定員になり次第締切)



### Webセミナー 参加無料

※通信費は自己負担です

## 令和3年 11月18日(木)

13時30分～15時00分 (13時00分から接続可能)

開催方法:オンライン(Zoomウェビナー(予定))

## プログラム

13:30～13:35

### ◆ 挨拶

理事長 森山正和氏 (神戸大学 名誉教授)

本コンソーシアムは、「TEAM EXPO 2025」プログラム/共創チャレンジに登録しました。

<https://team.expo2025.or.jp/ja/challenge/256>

TEAM  
EXPO  
2025

いどもう。みらいに。  
“共創チャレンジ”

13:35～14:05

### ◆ 万博記念公園における樹林地の造成・維持管理と緑陰の利用

日本万国博覧会記念公園における樹林地が作られた経緯や現況、緑陰の効果などをご紹介します。

大阪府 日本万国博覧会記念公園事務所 緑地課長 柝原邦匡氏

14:05～14:35

### ◆ 新横浜における緑陰施設を用いた暑熱対策

緑陰施設は、植物で日陰を創出することにより、利用者の体感温度を改善する据え置き型の施設です。緑陰施設を用いた暑熱対策や魅力的な緑化空間の創出などをご紹介します。

公益財団法人都市緑化機構 研究部 今井一隆氏

14:35～15:00

### ◆ 都市部におけるクールスポット

大阪HITECの活動「クールスポット体感会」の様子や環境計測の結果をもとに、水や緑を上手に取り入れた大阪都心部のクールスポットをご紹介します。

大阪市立大学 工学研究科 都市系専攻 教授 鍋島美奈子氏



以下のURLより必要事項をご記入のうえお申し込みください。  
 申込期限：令和3年11月9日（火）

申込み先 URL：https://www.kannousuiken-osaka.or.jp/ssl/hitec/211118/

お申し込みいただいたメールアドレスへ、  
 Zoomウェビナーのリンク等のご案内を  
 令和3年11月12日（金）までにお送りします。



申込みフォーム QRコード

- ※ セミナーの前日11月17日（水）になってもご案内が届かない場合は、お手数ですが、大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム事務局にご連絡ください。
- ※ Zoomの詳細は、https://zoom.us/jp-jp/webinar.html をご覧ください。
- ※ セミナーの参加には、安定したインターネット環境とパソコンやスマートフォン等が必要です。

申込方法

■ お問い合わせ

大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム 事務局  
 （地独）大阪府立環境農林水産総合研究所 技術支援グループ内  
 TEL：072-979-7062（受付：平日 9時00分～17時30分）  
 H P：http://osakahitec.com/



ヒートアイランド対策技術認証制度 認証製品 のご紹介

屋根用高日射反射率塗料

**ATTSU-9** 通常塗料 ATTSU-9(4F)

反射 47~50℃  
 44~45℃  
 36~38℃

吸収→発熱 63~65℃  
 54~55℃  
 43~47℃

パールライト [認証]  
 スノーホワイト [認証]

日本ペイント・  
 インダストリアル  
 コーティングス株式会社

高日射反射率屋根材

コロニアル遮熱ガラス  
 CC825(G及びW)  
 グラッサ・クールホワイト [認証]  
 CC835(G及びW)  
 グラッサ・クールシルバー [準認証]

ケイミュー株式会社

高日射反射率舗装（車道除く）

遮熱性舗装材  
 ランドサーマス  
 ライトグレー [認証]  
 ミディアムグレー [準認証]  
 ライトブラウン [認証]  
 ミディアムブラウン [準認証]

日本興業株式会社

ビッグサントップUR  
 ミルキーホワイト [認証]

大日化成株式会社

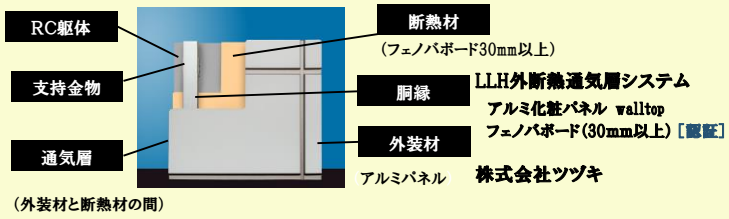
ニスカラー 通常塗料  
 塗装ガルバリウム鋼板  
 ニスカラー  
 RA019 Sグレー [認証]

日鉄鋼板株式会社

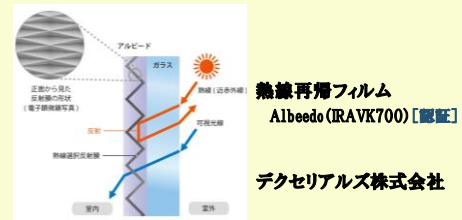
アースクールF  
 グレー [認証]

イサム塗料株式会社

外断熱仕様（外壁面）



再帰性高日射反射率窓フィルム



■ 大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム

大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムでは、「ヒートアイランド対策の推進」の一環として、「産学官民によるパートナーシップの構築」「知見の収集と整理」「技術開発」「普及啓発」などを通じ、ヒートアイランド現象緩和への貢献を目指した活動を行っています。

